

事業所名

児童発達支援 放課後等デイサービスよりそい

支援プログラム（東大阪市提出用）

作成日

2025年

4月

1日

法人（事業所）理念		私たちはつながるすべての人の夢を応援し、すべての人の幸せを支え続けます							
支援方針		一人ひとりの性格、障がい特性によりそいながら、個別の目標を達成できるよう個別プログラムを作成し様々なことにチャレンジできるようサポートします。また、日常生活における身の回りの行動（身辺自立）や集団生活におけるルールを学び、成長できるようサポートします。基本的な生活習慣、集団での行動や他児、そして大人との関わりにより生活に欠かせないソーシャルスキルやコミュニケーション能力を伸ばしていけるよう様々な活動を設定し取り組んでいく。							
営業時間		9時	00分	17時	45分	まで	送迎実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態の把握…小さな変化にも気付けるよう毎回の検温や身体の確認を実施します。 靴の脱ぎ履きや荷物の整理、手洗いなどの基本的な生活スキルを取得できるよう支援します。 食事、排泄、着替え等の生活習慣について、基本的なスキルが取得できるよう支援します。 物の片付けや準備等、視覚的にもわかりやすい工夫を行い、自主的に行動できるようスケジュールを見える化し支援します。 							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> グラウンドを使用した全身運動や人工芝や砂場での遊びにより感覚刺激を感じれるよう支援し動作等の取得を目指します。 個人にあった椅子や机等を使用した姿勢の保持や運動や遊びのサポートによる体感の強化をサポートします。 自然豊かな立地を活用し四季を感じれるイベントを開催し視覚、聴覚、感覚等を刺激できる取り組みにより五感を刺激する取り組みを実施します。 それぞれの感覚を大切に、個別に楽しめる遊びの提案と特性に応じて部屋をわけるなど視覚・環境を整え集中して取り組めるよう支援します。 							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 物の置き場所や準備方法等を視覚的にもわかりやすく工夫し自分で気付き自主的に行動できるようサポートします。 絵カードやタイムタイマーを使用しわかりやすく活動の終始がわかりやすいようにします。 パズルや型はめ、色等の認知やプットイン等の作業訓練を一人ひとりに合わせた時間、量等を工夫し適切な認知と行動の習慣を支援します。 個別の特性、興味に応じた提案により自己選択・自己決定ができるようサポートします。 							
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 集団での活動や外出等の様々な活動と経験により自らが「伝えたい。話したい」と思える活動を実施します。 絵カードや掲示により、視覚的にも伝えることで発する機会の創出と大人が汲み取り、理解することで「伝わった経験」を増やせるようサポートします。 大人も含めた幅広い年代と関わる場を設け、会話や伝えることの大切さやコミュニケーションの基礎力向上ができるよう支援します。 他者に自分の思いを伝える、他者の気持ちが理解できるように支援します。 							
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 集団行動時のルールや手順を伝え、他者との関わり方や集団活動に参加しやすいようサポートします。 職員が一人ひとりと信頼関係を構築し、学校でもなく課程でもない場所で心身のレスパイトとなるよう自己表現できる場所を目指します。 外出し園児の大人との関わりや喫茶店での購入等を経験し社会性を身につけられるよう支援します。また、外でのルール（信号等）も外出前に学べるよう支援します。 一人ひとりの強みを理解し、できた経験を増やし自信がつくよう支援します。 							
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> LINEを活用した相談しやすい環境整備 Instagramの活用によるサービスの見える化 個別面談の実施による関係の構築 きめ細かいアセスメントと延長サービスによるレスパイト機能の強化 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 学校、関係機関との密な情報共有と支援方法の共有 カンファレンス時の情報取得と支援内容の共有及び改善 カンファレンスの参加 地域住民との交流と行事への参加 		
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 行政主催の会議への参加 家族や学校等との連携による情報共有 近隣スーパーや施設への外出 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 年12回の法人及び施設内研修への参加 より専門的な知識を取得するためのスペシャルラーニングの実施 職員が個別支援計画の内容を確認し5領域の再確認 		
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 月1回の外出支援等 季節のイベント（節分や夏のプール（水遊び）、クリスマス会に野菜の収穫等） 年2回の避難訓練 お菓子作りや料理等の体験実習の実施 							

【公表方法】

 インターネットに掲載（URL： <https://osj.or.jp/yorisoi> ）

 その他（具体的な方法： ）

《注意》

「事業所における基本情報」及び「支援内容」が網羅されていれば、独自様式を使用しても差し支えありませんが、本市に提出される際には【公表方法】をお示しください。